

昭和二十二年八月二十五日印刷
昭和二十二年八月三十日發行

土木學會誌

第三十二卷 第一號

目次

會告 報文

鐵道關門隧道工事に就て.....	正正正	員員員	釘星加 宮野納 碧樹二	頁 1
道路勾配と歩行速度に関する一考察(抄録).....	正	員	後藤宇太郎	9
氣象とコンクリート強度 (I).....	准	員	高橋芳夫	14

參考資料

道路橋の耐荷力算定.....	正	員	村上永一	18
電氣濕度計に依る土壌密度の測定.....				20
ナンタハラ・ロックフィルダム.....				21
新設札幌スキー場に就て.....				22
外國文獻内容目錄拔萃(II).....				25

南海大地震災害報告

一般; 鐵道; 港灣; 河川; 道路; 橋梁.....				27
-----------------------------	--	--	--	----

昭和22年8月

土木學會

土木學會誌 第三十二卷 第一號



大成建設株式會社

(舊稱 大倉土木株式會社)

本店 東京都中央區銀座三丁目
電話京橋(56)六一五一~九番
支店 大阪・名古屋・福岡・仙臺・橫濱・高松・廣島・新潟・札幌
出張所・營業所 全國各地

株式會社 大林組

本店 大阪市東區京橋三ノ一二
東京支店 東京都千代田區丸ノ内一ノ二
支店 札幌・仙臺・橫濱・名古屋・京都・福岡
出張所 八戸・高崎・山形・靜岡・神戸・岡山・廣島

土木建築施工設計管理 三建工業株式會社

(前 三井建設工業株式會社)

本店 東京都中央區室町二ノ一ノ一
電話日本橋(24)三二六一~五
支店 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌
營業所 橫濱・仙臺・和歌山・廣島

株式會社 錢高組

本店 大阪市西區土佐堀通三ノ一四
電話土佐堀(44)3451~3454
支店 東京都中央區銀座4の3
電話京橋(56)6680~6783
名古屋市中區材木町1の5
電話本局 4491
福岡市箱屋町16
出張所 吳・松山・米子・仙臺・岐阜・門司・鹿兒島・札幌

土木建築請負 日産土木株式會社

取締役社長 宮長平作

本社 東京都港區田村町一ノ二
電話銀座(57)代表八二二一~番
支社 大阪・下關・宇都宮・水戸・仙臺・橫濱
出張所 立川・千葉・清水・富山・名古屋・福岡・別府

土木建築請負

株式會社 藤田組

取締役會長 藤田定市

本社 東京都中央區通一ノ七
電話日本橋(24)〇八九五・一〇八一・一〇六六
支店 橫濱・廣島・大阪・小倉

株式會社 西松組

取締役社長 林米七

東京都中央區京橋三ノ三
電話京橋(56) 五九一 番番
三〇三〇 番番
三七一八 番番

土木建築請負業

株式會社 鴻池組

取締役社長 鴻池慶一

本社 大阪市此花區傳法町北三ノ六七
電話此花 一六三一一~一六三二
東京支店 東京都中央區銀座六ノ三ノ二
電話銀座(57)一三〇〇・一九九一
支店 東京・名古屋・宮崎
出張所 松江・神戸・函館・水戸・土浦

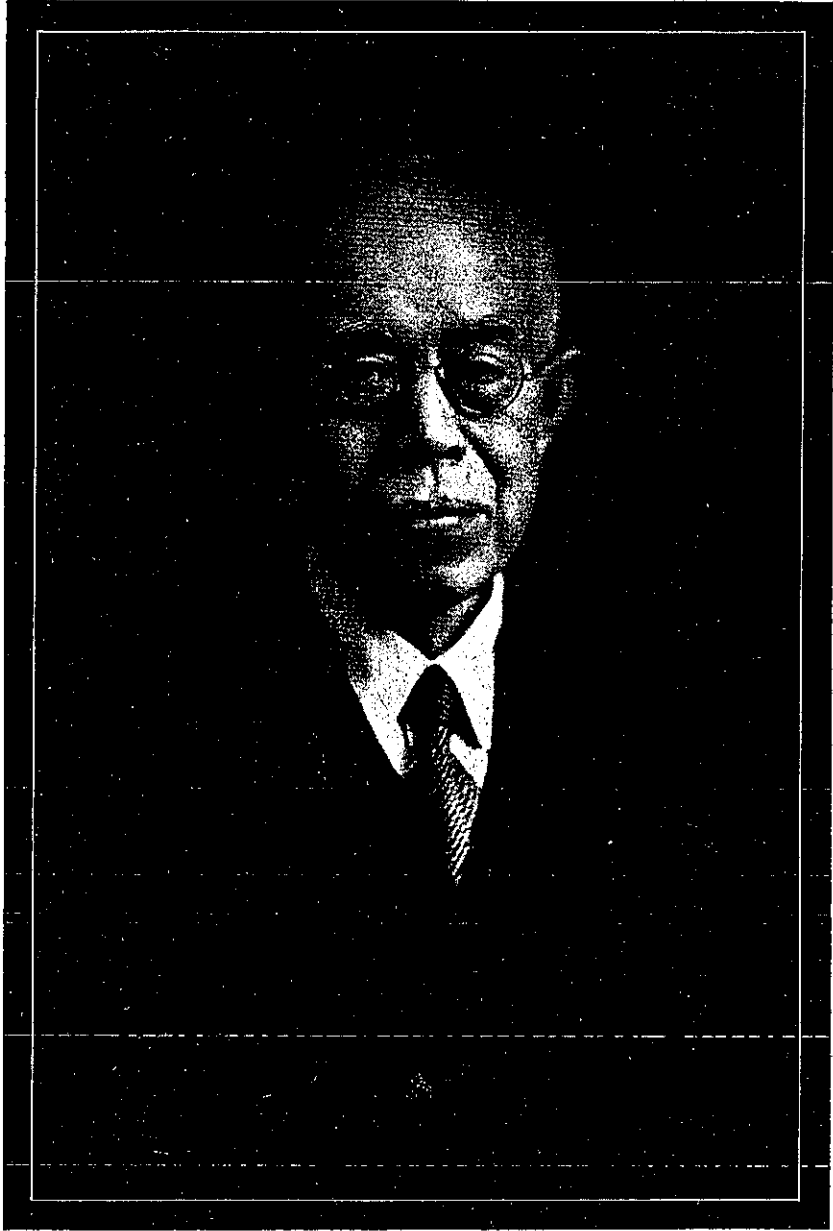
故 會長 鹿島精一君略歴

鹿島精一君は明治 8 年出生、32 年 7 月東京帝國大學工學部土木工學科を卒業し直ちに鹿島組副組長となり引續き 45 年 2 月同組々長となつた。大正 11 年 5 月請負業界視察の爲歐米各國を旅行し同年 11 月歸朝、14 年 2 月東京商工會議所議員に當選、同年 10 月土木業協會理事に推薦された。昭和 2 年 4 月東京土木建築業組合長に又 4 年 6 月帝國鐵道協會理事に推薦され、6 年 11 月關東産業團體常務委員に又 7 年 2 月には勞働者災害扶助責任保險審査委員に選任された。昭和 9 年 7 月東京ロータリー俱樂部會長に又 15 年 4 月土木工業協會理事長に推薦された。その間鹿島組に在つては昭和 5 年 2 月株式会社組織に變更と同時に社長に就任し、13 年 7 月には取締役會長に就任した。昭和 19 年 2 月日本建築統制組合の理事長に就任、一方 18 年 11 月には、土木建築事業に盡瘁した功勞に依り綠綬褒賞を賜つた。昭和 21 年 5 月には本學會々長に推薦され、又 21 年 8 月には貴族院議員に勅選されて今日に至つたのである。

君は學校を卒業して直ちに業界に入るや終始土木建設事業に従事し就中鐵道、水力發電又は道路等全國に亘る大小廣汎な國土開發工事に力を致し更に歐米各國の業界を視察して土建業界の技術水準昂揚に寄與したこと等我國土木界の爲に盡瘁せられた功績には誠に顯著なものがある。

昭和 21 年暮以來病を得て靜養中であつたが、昭和 22 年 2 月 6 日午前 8 時東京都小石川區關口臺町の自邸で遂に永眠した。享年 73。

故 會長 鹿島 精一 君



DOBOKU-GAKKWAISHI

(JOURNAL OF THE CIVIL ENGINEERING SOCIETY)

VOL. XXXII, NO. 1, AUG. 1947

CONTENTS

Papers	Page
On the Construction of Kan-mon Undersea Railway Tunnel. <i>By Iwao Kugimiya, Shigeki Hoshino and Kenzi Kanō, C. E. Member</i>	1
Road Grade and Walking Speed. <i>By Utarō Gotō, C. E. Member</i>	9
Weather Effect of the Strength of Concrete (I). <i>By Yoshio Takahashi, C. E. Assoc. Member</i>	14
Reference Data	
On the Capacity of Highway-Bridges <i>By Eiichi Murakami, C. E. Member</i>	18
Determination of Soil Density by Electric Moisture Meter	20
The Nantahala Rock-fill Dam	21
The New Sapporo Skiing Slope	22
Quotation of the Foreign Literature's Contents (II)	25
Reports on the damages due to Nankai Big Earthquake.	
General; Railways; Harbours; Rivers; Roads; Bridges	27

OFFICE

No. 12, 2-CHÔME, SHINKAWA, CHŪÔ-KU, TÔKYÔ